



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月26日

上場会社名 トランコム株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 9058 URL <http://www.trancom.co.jp/ir/index.html>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 清水 正久
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務人事・財務経理担当 (氏名) 岩尾 徹 TEL (052) 939-2011
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日 配当支払開始予定日 平成27年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 証券アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	61,857	13.0	2,695	14.8	2,679	16.0	1,553	14.5
27年3月期第2四半期	54,735	12.6	2,347	7.6	2,309	8.5	1,356	14.2

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 1,508百万円 (12.4%) 27年3月期第2四半期 1,342百万円 (9.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	160.10	159.65
27年3月期第2四半期	139.80	139.64

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	39,279	22,912	58.0	2,347.63
27年3月期	38,642	21,660	55.9	2,224.94

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 22,782百万円 27年3月期 21,589百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	33.00	—	33.00	66.00
28年3月期	—	34.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	34.00	68.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	124,400	8.5	5,910	6.4	5,840	6.8	3,450	17.9	355.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	10,324,150株	27年3月期	10,324,150株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	619,819株	27年3月期	620,619株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	9,703,951株	27年3月期2Q	9,703,548株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 自己株式に関する情報

当社は、従業員株式所有制度に基づく「株式給付信託（J-E S O P）」が所有する当社株式を四半期連結財務諸表において自己株式として計上しております。したがって、1株当たり四半期純利益又は潜在株式調整後1株当たり四半期純利益、及び1株当たり純資産を算定するための期末の普通株式及び普通株式の期中平均株式数について、「株式給付信託（J-E S O P）」が所有する当社株式を控除しております。なお、平成27年9月30日現在において、「株式給付信託（J-E S O P）」が所有する自己株式は19,400株であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期におけるわが国の経済は、政府の経済対策や日本銀行の金融緩和政策を背景に、円安・株価の上昇、企業業績や雇用情勢の改善がみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしましたが、個人消費においては、円安による物価の上昇など先行き不透明な状況が続いております。物流業界を取り巻く環境は、ドライバー不足によるトラック運賃単価の上昇、人件費の値上がりに加え、物流構造の変化、それに伴う顧客ニーズの多様化など、大変厳しく、また大きく変化してきております。

当社グループは、新中期経営計画「TRANCOM VISION 2020」を策定し、平成27年4月より開始いたしました。

「TRANCOM VISION 2020」では、全従業員、パートナー企業の皆様と力を合わせ、ICTを積極的に活用し、お客様のサプライチェーン全体をお客様とともに革新し、継続的な成長とともに、質の高い機能を果たす、強い企業グループを目指しております。

更なる成長及び企業価値の向上を目指し、成長戦略として掲げる「人」「パートナー」「ICT」の3つへ、集中的に経営資源を配分するとともに、「ALL TRANCOMによる事業領域の拡大」に向けた取り組みを推進しております。

当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高618億57百万円（前年同期比 13.0%増）、営業利益26億95百万円（同 14.8%増）、経常利益26億79百万円（同 16.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、15億53百万円（同 14.5%増）となりました。

当社グループでは、事業内容を3つのセグメント及びその他に区分しております。セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ロジスティクスマネジメント事業

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	19,726	22,413	2,686	13.6
セグメント利益（営業利益）	1,085	1,422	337	31.1

売上高は、既存拠点における物量の増加に加え、新規に稼働した拠点が業績に寄与し、増収となりました。営業利益は、物流業務システムの保守体制強化に伴う費用の計上はありましたが、売上高の増加に伴う利益の増加、前期に開設した大型拠点の収益力の向上により、増益となりました。

② 物流情報サービス事業

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	29,489	33,540	4,051	13.7
セグメント利益（営業利益）	1,129	1,194	65	5.8

パートナー企業との連携強化を進める中で、空車情報数は増加いたしました。貨物情報数は微増で推移いたしましたが、分析ツールを駆使したアプローチにより、成約件数は堅調に増加したことにより、増収増益となりました。

③ インダストリアルサポート事業

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	4,082	4,387	305	7.5
セグメント利益（営業利益）	124	49	△74	△60.0

売上高は、国内において、顧客ニーズに応える会員の採用に苦戦いたしましたが、派遣部門における新規顧客獲得及び請負部門における生産増により、増収となりました。

営業利益は、一部の拠点において、会員の採用に苦戦したことによる売上減に伴う利益の減少に加え、海外においては、タイでの運営体制強化に伴う費用の増加などにより、減益となりました。

④ その他

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	2,103	2,197	93	4.4
セグメント利益(営業利益)	117	122	5	4.5

売上高の増加による利益確保が、情報システム部門におけるICT強化に向けた費用を吸収し、増収増益となりました。

(注)上記の数値は、セグメント間取引の消去はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の前連結会計年度末との比較情報は次のとおりであります。

イ. 資産

流動資産は、受取手形及び売掛金が3億22百万円減少した一方、現金及び預金が10億86百万円増加したことなどにより、8億3百万円増加し249億57百万円となりました。

固定資産は、投資その他の資産が1億19百万円増加した一方、減価償却等により有形固定資産が82百万円、無形固定資産が2億4百万円それぞれ減少したことにより、1億66百万円減少し143億21百万円となりました。これらにより資産合計は、6億36百万円増加し392億79百万円となりました。

ロ. 負債

流動負債は、買掛金が3億82百万円、未払消費税等が6億46百万円それぞれ減少したことなどにより、9億3百万円減少し134億87百万円となりました。

固定負債は、厚生年金基金解散損失引当金を3億9百万円計上したことなどにより、2億88百万円増加し8億79百万円となりました。これらにより負債合計は、6億15百万円減少し163億67百万円となりました。

ハ. 純資産

純資産は、利益剰余金が12億32百万円増加したことなどにより、12億51百万円増加し229億12百万円となり、自己資本比率は58.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「現金」という)は、前連結会計年度末に比べ10億86百万円増加し60億36百万円となりました。

イ. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益23億59百万円、減価償却費6億64百万円等の資金の増加、未払消費税等の減少額6億46百万円及び法人税等の支払額10億12百万円等の資金の減少により、17億90百万円の収入(前年同四半期は16億57百万円の収入)となりました。

ロ. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出2億94百万円、無形固定資産の取得による支出83百万円及び投資有価証券の取得による支出84百万円等により、4億32百万円の支出(前年同四半期は9億96百万円の支出)となりました。

ハ. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額3億20百万円、リース債務の返済による支出1億22百万円等により、2億58百万円の支出(前年同四半期は5億50百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、売上高、営業利益及び経常利益、並びに親会社株主に帰属する当期純利益の数値を修正しております。この修正に伴う各セグメントの業績予想は次のとおりであります。

① ロジスティクスマネジメント事業

	平成27年3月期	平成28年3月期	対前期増減	対前期増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	41,294	45,260	3,965	9.6
セグメント利益(営業利益)	2,646	3,110	463	17.5

② 物流情報サービス事業

	平成27年3月期	平成28年3月期	対前期増減	対前期増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	61,693	67,300	5,606	9.1
セグメント利益(営業利益)	2,521	2,660	138	5.5

③ インダストリアルサポート事業

	平成27年3月期	平成28年3月期	対前期増減	対前期増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	8,818	8,610	△208	△2.4
セグメント利益(営業利益)	334	70	△264	△79.1

④ その他

	平成27年3月期	平成28年3月期	対前期増減	対前期増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	4,258	4,430	171	4.0
セグメント利益(営業利益)	262	250	△12	△4.7

(注)上記の数値は、セグメント間取引の消去はしていません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この変更が、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益及び当第2四半期連結会計期間末の資本剰余金に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,950	6,036
受取手形及び売掛金	18,331	18,008
商品	17	15
仕掛品	0	2
貯蔵品	16	15
前払費用	407	522
繰延税金資産	244	254
その他	202	119
貸倒引当金	△17	△17
流動資産合計	24,154	24,957
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,118	7,158
減価償却累計額	△3,480	△3,595
建物及び構築物 (純額)	3,638	3,563
機械装置及び運搬具	3,128	3,329
減価償却累計額	△2,335	△2,461
機械装置及び運搬具 (純額)	792	867
土地	2,701	2,701
リース資産	2,491	2,462
減価償却累計額	△979	△1,010
リース資産 (純額)	1,511	1,451
その他	803	815
減価償却累計額	△501	△535
その他 (純額)	301	280
有形固定資産合計	8,946	8,864
無形固定資産		
のれん	555	462
リース資産	6	7
ソフトウェア	1,691	1,569
ソフトウェア仮勘定	108	120
その他	180	178
無形固定資産合計	2,543	2,338
投資その他の資産		
投資有価証券	1,146	1,160
繰延税金資産	398	495
差入保証金	1,304	1,315
その他	186	178
貸倒引当金	△37	△30
投資その他の資産合計	2,998	3,118
固定資産合計	14,488	14,321
資産合計	38,642	39,279

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,372	7,990
短期借入金	1,417	1,604
リース債務	229	229
未払金	220	272
未払費用	1,227	1,203
未払法人税等	985	819
未払消費税等	1,096	449
賞与引当金	457	491
役員賞与引当金	35	19
その他	349	404
流動負債合計	14,391	13,487
固定負債		
リース債務	1,589	1,547
再評価に係る繰延税金負債	12	12
株式給付引当金	63	86
厚生年金基金解散損失引当金	-	309
退職給付に係る負債	129	122
資産除去債務	408	408
長期未払金	86	82
その他	302	311
固定負債合計	2,591	2,879
負債合計	16,982	16,367
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080	1,080
資本剰余金	1,230	1,226
利益剰余金	19,986	21,219
自己株式	△973	△971
株主資本合計	21,323	22,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	87	59
土地再評価差額金	25	25
為替換算調整勘定	120	112
退職給付に係る調整累計額	31	30
その他の包括利益累計額合計	265	228
新株予約権	61	123
非支配株主持分	9	6
純資産合計	21,660	22,912
負債純資産合計	38,642	39,279

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	54,735	61,857
売上原価	51,296	57,970
売上総利益	3,438	3,887
販売費及び一般管理費	1,090	1,192
営業利益	2,347	2,695
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	10	10
持分法による投資利益	-	26
その他	25	18
営業外収益合計	36	56
営業外費用		
支払利息	70	63
その他	3	7
営業外費用合計	74	71
経常利益	2,309	2,679
特別利益		
固定資産売却益	6	6
その他	0	0
特別利益合計	6	7
特別損失		
固定資産売却損	22	0
固定資産廃棄損	3	18
厚生年金基金解散損失引当金繰入額	-	309
その他	0	0
特別損失合計	27	327
税金等調整前四半期純利益	2,288	2,359
法人税、住民税及び事業税	873	903
法人税等調整額	57	△92
法人税等合計	931	810
四半期純利益	1,357	1,548
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,356	1,553
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△4
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	△27
為替換算調整勘定	△5	△10
退職給付に係る調整額	△2	△1
その他の包括利益合計	△15	△39
四半期包括利益	1,342	1,508
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,343	1,515
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,288	2,359
減価償却費	588	664
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3	△6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7	34
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13	△15
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	19	22
厚生年金基金解散損失引当金の増減額 (△は減少)	-	309
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△6	△9
受取利息及び受取配当金	△10	△11
持分法による投資損益 (△は益)	-	△26
支払利息	70	63
固定資産売却損益 (△は益)	16	△6
固定資産廃棄損	3	18
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,386	322
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2	1
仕入債務の増減額 (△は減少)	739	△382
未払消費税等の増減額 (△は減少)	442	△646
その他	150	98
小計	2,915	2,790
利息及び配当金の受取額	10	11
持分法適用会社からの配当金の受取額	-	64
利息の支払額	△70	△63
法人税等の支払額	△1,198	△1,012
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,657	1,790
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△323	△294
有形固定資産の売却による収入	282	7
無形固定資産の取得による支出	△459	△83
投資有価証券の取得による支出	△0	△84
関係会社株式の取得による支出	△465	-
貸付けによる支出	△50	△1
貸付金の回収による収入	4	30
その他	15	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△996	△432
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	200
長期借入金の返済による支出	△126	△12
リース債務の返済による支出	△112	△122
配当金の支払額	△310	△320
その他	△0	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△550	△258
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	106	1,086
現金及び現金同等物の期首残高	3,007	4,950
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,114	6,036

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益及 び包括利 益計算書 計上額 (注) 3
	ロジステ イクスマ ネジメン ト事業	物流情報 サービス 事業	インダス トリアル サポート 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	19,722	29,441	3,951	53,115	1,620	54,735	—	54,735
セグメント間の 内部売上高又は振替高	4	48	131	183	483	667	△667	—
計	19,726	29,489	4,082	53,298	2,103	55,402	△667	54,735
セグメント利益	1,085	1,129	124	2,340	117	2,457	△109	2,347

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム開発事業及び自動車整備事業により構成し、一部の海外展開のための本社費用を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△109百万円には、セグメント間取引消去△17百万円、のれんの償却額△92百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益及 び包括利 益計算書 計上額 (注) 3
	ロジステ イクスマ ネジメン ト事業	物流情報 サービス 事業	インダス トリアル サポート 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	22,404	33,500	4,225	60,130	1,724	61,855	2	61,857
セグメント間の 内部売上高又は振替高	8	40	161	210	472	683	△683	—
計	22,413	33,540	4,387	60,341	2,197	62,538	△681	61,857
セグメント利益	1,422	1,194	49	2,667	122	2,790	△95	2,695

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム開発事業及び自動車整備事業により構成し、一部の海外展開のための本社費用を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△95百万円には、セグメント間取引消去△2百万円、のれんの償却額△92百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。